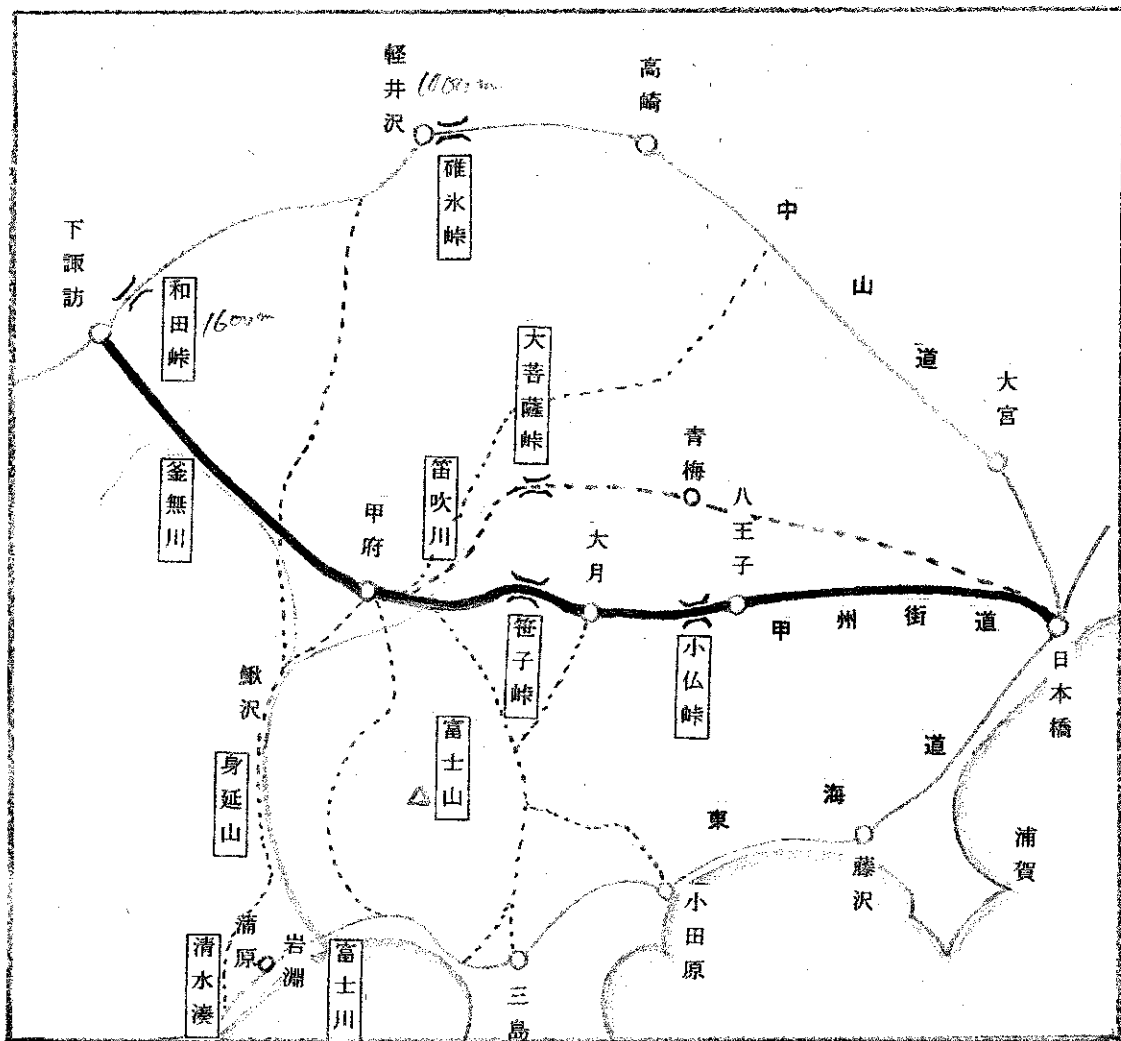
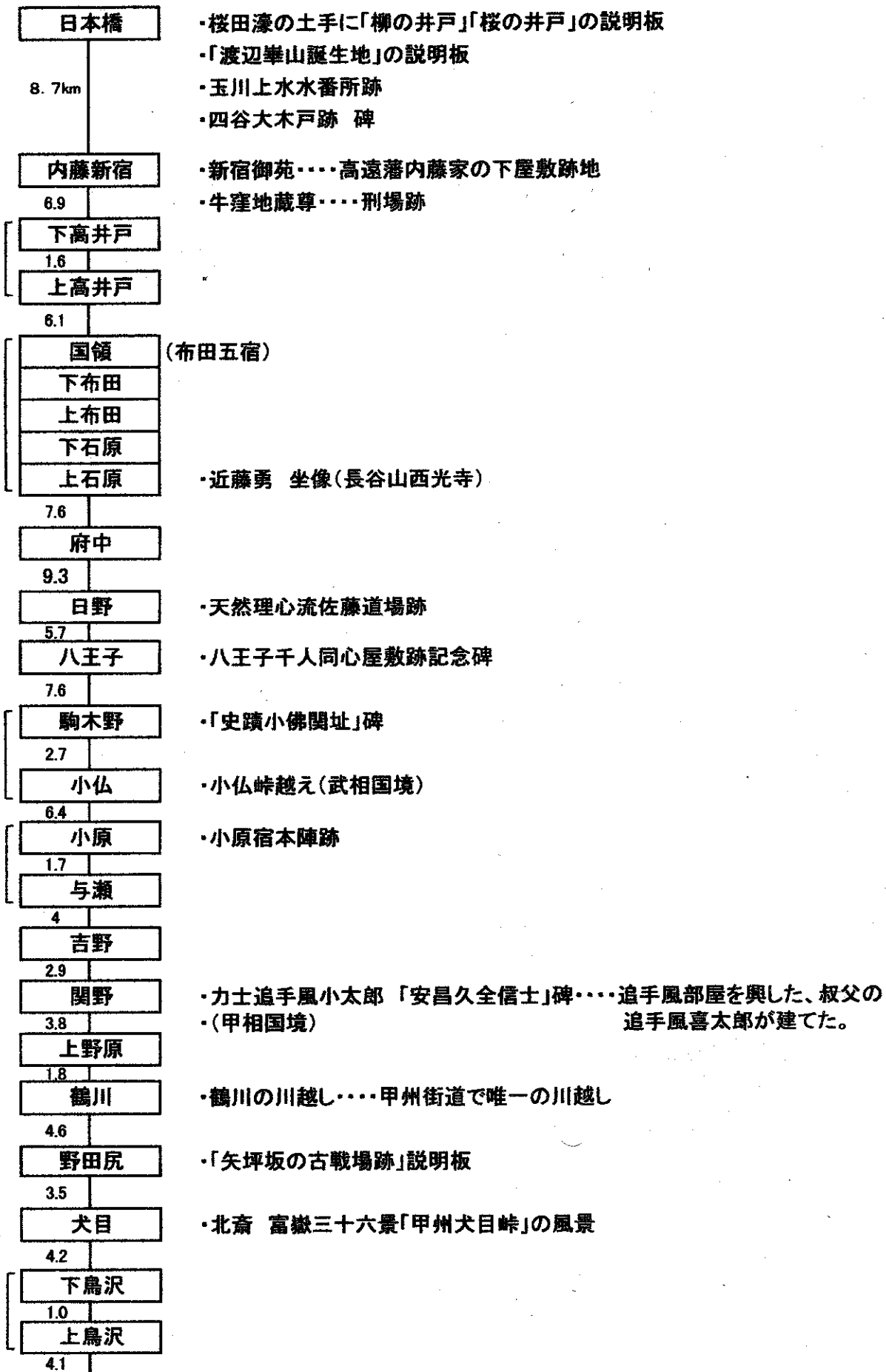
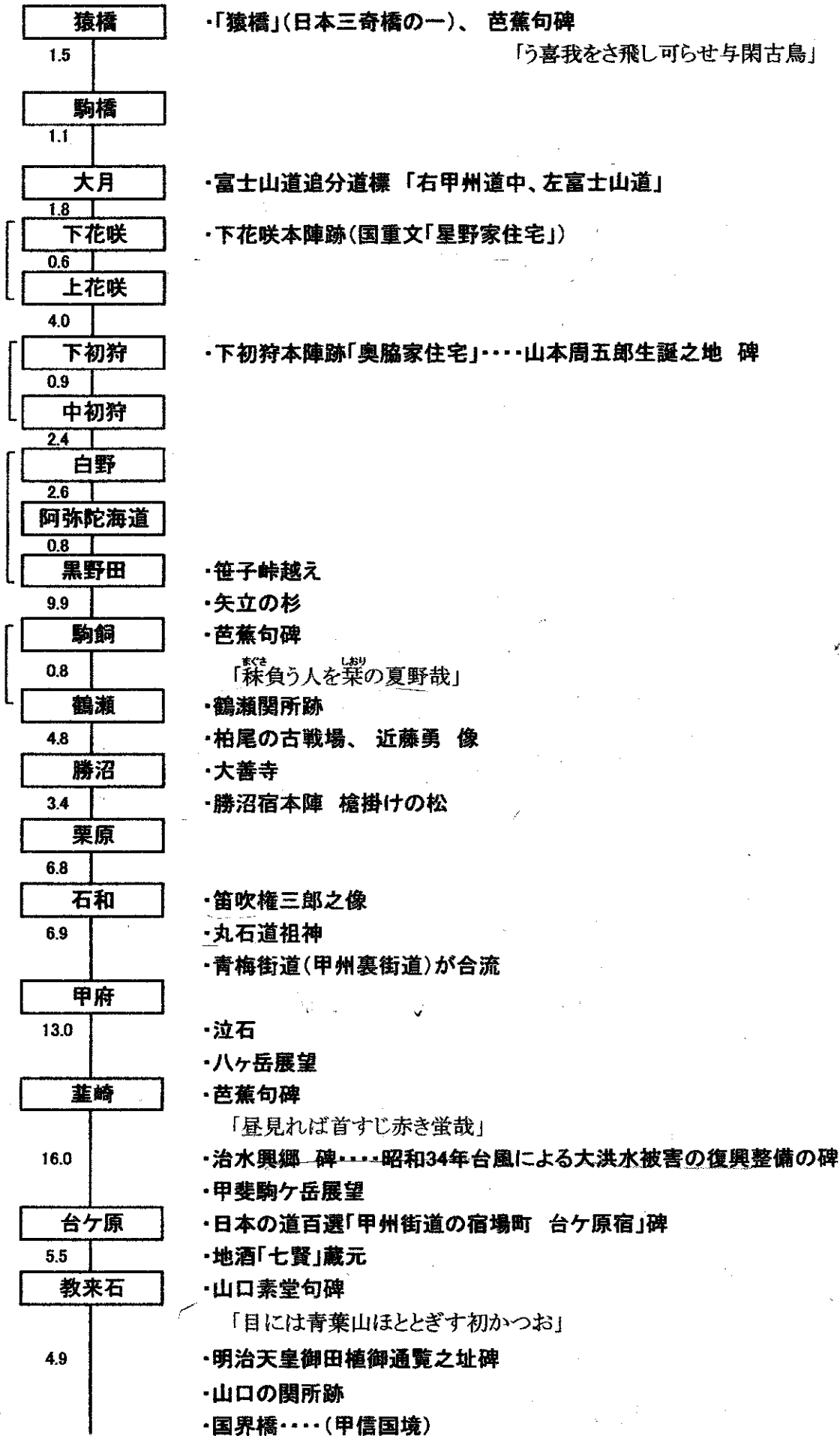


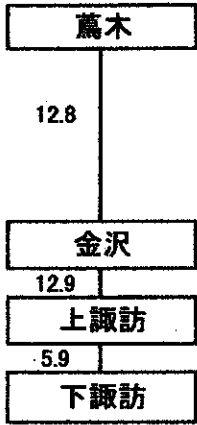
私の歩いた五街道 (甲州街道編)



- (1) 甲州街道は江戸日本橋と信州下諏訪を結ぶ53里余り(約210km)の街道です。日本橋から大宮、高崎回りで下諏訪へ至る中山道よりも2里余り(約10km)短く、また途中の山越えも中山道ほど険しくはありません。にもかかわらず、多くの参勤交代の大名は東海道か中山道を通して江戸と国元を往き来し、甲州街道を通る大名は諏訪の高島藩と伊那の高遠藩、飯田藩の合わせて3藩にすぎませんでした。
- (2) その最大の理由は、甲州街道が東海道、中山道に比べて街道としての機能が未発達であったことです。参勤交代はその日程、経路を各藩が事前に幕府に届け出で、許可を得て国元と江戸表を往き来したのですが、大名行列数百人を受け入れる宿所、荷を運ぶ人馬(牛)等の備えが甲州街道は不十分だったのです。諏訪、高遠、飯田の各藩は小藩でもあり、また諏訪藩にとって甲州街道は自国領内を通る道であり、伊那地方を領国とする高遠、飯田両藩も諏訪藩に準じて取扱われたものと考えられます。
- (3) 宿場の数は45を数え、五街道のうちではその距離に比べ宿場数が多いことが挙げられます。これは街道沿いの村落に整備集約等の手立てを講じないままに、宿駅の役目を担わせたことによるものと思われます。そのため一つの宿では対応できず、隣接の宿場を合わせてその機能を果たしていた宿が9ヶ所(組)ありました。甲州街道の合宿にはいくつかのパターンがありましたが、主に問屋業務を月のうち前半後半、あるいは上旬、中旬、下旬に分けて担当することが行われました。







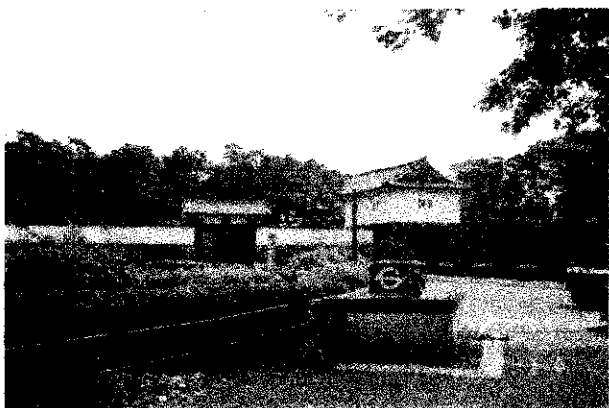
- ・日蓮上人高座石
- ・蔦木宿本陣跡、 与謝野晶子歌碑
「本陣の子の我が友と いにしへの蔦木の宿を歩む夕ぐれ」
「白じらと並木のもとの石の樋が 秋の水吐く蔦木宿かな」
- ・瀬沢合戦跡(1540)
- ・諏訪大社下社秋宮
- ・甲州道中中山道合流之地 碑

(主要参考図書)

- ・「街道雑記—私の歩いた五街道—」 佐藤猛夫 文芸社
- ・「ちゃんと歩ける甲州街道」 五街道ウォーク・八木牧夫 山と溪谷社
- ・「多摩の街道(上)甲州街道・青梅街道編」 清水克悦・津波克明 けやき出版

(明治天皇巡幸記念碑の碑文)

明治天皇御駐輦跡 (蔦木)	明治天皇御田植御通覧之址 (教来石)	明治天皇御小休所跡 (教来石宿)	明治天皇勝沼行在所 (勝沼宿)	明治天皇御野立所跡 (笹子峠)	明治天皇御小休遺跡 (中初狩宿)	明治天皇花咲御小休所 (下花咲宿)	明治天皇御小休所址 (天目宿)	明治天皇小仏峠御小休所址及御野立所 (小仏峠)
------------------	-----------------------	---------------------	--------------------	--------------------	---------------------	----------------------	--------------------	----------------------------



桜田門



半蔵門



四谷大木戸跡 碑



近藤勇 坐像



天然理心流佐藤道場跡



力士追手風小太郎「安昌久全信士」碑



猿橋



笹子峠越え



矢立の杉



近藤勇 像



丸石道祖神



甲斐駒ヶ岳展望



地酒「七賢」蔵元



明治天皇御田植御通覧之址碑



諏訪大社下社秋宮



甲州道中中山道合流之地 碑